

教 育 費

教育費の支出済額は、4,203,924,841円で、対前年度比630,451,881円、13.04パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は8.23パーセントです。

教 10
育
費 款

10款 1項 1目 教育委員会費

教育委員会運営事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 303 ページ

予 算 現 額	4,202,000 円	決 算 額	3,870,800 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	331,200 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		3,834,401 円	地 方 債
	増 減 額		36,399 円	そ の 他
	増 減 率		0.95%	一 般 財 源
			3,870,800 円	

<目的>

狭山市の教育行政の根幹となる教育委員会を円滑に運営します。

<内容>

教育委員の委員報酬、教育委員研修会等に対する費用弁償のほか、入間地区教育委員会連合会等の負担金を支出します。

<実績・成果等>

1 定例会開催状況

区 分	会 期	付 議 議 案
令和4年 第 4 回	4月25日	狭山市社会教育委員の委嘱について ほか 15 件
第 5 回	5月24日	令和4年度狭山市一般会計補正予算（第2号）－教育費 ほか3件
第 6 回	6月23日	狭山市立博物館協議会委員の解任について ほか3件
第 7 回	7月28日	付議議案無し
第 8 回	8月24日	令和4年度狭山市一般会計補正予算（第5号）－教育費 ほか2件
第 9 回	9月28日	令和5年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和5年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について
第 10 回	10月18日	令和5年度当初市立幼稚園教諭人事異動の方針について
第 11 回	11月21日	狭山市民総合体育館の指定管理者の指定について ほか1件
第 12 回	12月21日	狭山市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則
令和5年 第 1 回	1月20日	狭山市教育委員会委員の辞職の申出に関し同意を求めることについて
第 2 回	2月15日	狭山市立博物館条例の一部を改正する条例 ほか5件
第 3 回	3月27日	狭山市教育委員会における申請書等の押印の省略に関する規則 ほか4件

2 臨時会開催状況

区 分	会 期	協 議 事 項
令和5年 第 1 回	3月13日	令和 4 年度狭山市一般会計補正予算（第 11 号）－教育費

3 視察研修

区 分	会 期	視 察 場 所
市 外	2月1日	坂戸市立城山学園 視察内容：施設一体型小中一貫教育校について

4 総合教育会議開催状況

区 分	会 期	協 議 事 項
令和4年 第 1 回	9 月 28 日	第 2 土曜授業日の見直しについて

10款 1項 2目 事務局費

奨学金貸与事業

(学務課)

決算事項別明細書 307 ページ

予 算 現 額		12,124,000 円	決 算 額		2,337,288 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		9,786,712 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	4,187,158 円		地 方 債	
	増 減 額	△1,849,870 円		そ の 他	2,337,288 円
	増 減 率	△44.18%	一 般 財 源		

<目的>

能力があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な方へ奨学金を貸与することにより、修学の機会を確保します。

<内容>

経済的理由により大学などへの修学が困難な者に対して、入学一時金及び学資金を貸与します。

<実績・成果等>

奨学金の貸与者数

高 校 生	高等専門学校生	専 修 学 校 生	大 学 生	計
3 人 (0 人)	0 人 (0 人)	1 人 (0 人)	6 人 (0 人)	10 人 (0 人)

※()内は本年度新規に貸与を受けた者の数

※制度創設以来の延べ人数は、高校生 162 人、専修学校生 87 人、大学生 440 人、高等専門学校生 2 人の合計 691 人となります。

10款 1項 3目 教育指導費

介助員（特別支援教育）配置事業

（教育指導課）

決算事項別明細書 309 ページ

予算現額		64,195,000 円	決算額		60,526,914 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		3,668,086 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	57,206,865 円			地方債	
	増減額	3,320,049 円			その他	
	増減率	5.80%		一般財源	60,526,914 円	

<目的>

教育上特別の支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応えるため、一人一人の障害の状態に応じた教育内容や教育方法の充実を図ります。

<内容>

介助員を配置して、障害のある児童生徒の介助を行うとともに、一人一人の障害に応じて効果的な学習活動上の介助を行います。

<実績・成果等>

1 本年度 介助員配置状況

区 分	対象学校	配置人数	平均勤務日数
小 学 校	15 校	26 人	200.00 日
中 学 校	7	8	199.13

2 介助の内訳

- (1) 通常の教育活動・学習活動における介助と支援
- (2) 校外学習、社会科見学、遠足等の学校外での教育活動における介助
- (3) 宿泊学習や修学旅行の引率に伴う介助（学校からの要請に応じて、必要と認める場合）
- (4) 第2土曜日における介助

3 成果

- (1) 介助員は、担当する児童生徒との関わりを通じて徐々に人間関係を築き、一人一人の障害の状況を深く理解しながらきめ細かい介助を行っています。また、学級担任と児童生徒をつなぐ役割も担い、高い教育効果を上げています。
- (2) 介助員は、学級担任との連携を図りながら、基本的な生活習慣の確立のための生活上の介助、学習活動や教室移動に対する介助、児童生徒の健康・安全の確保、学校行事への参加に関する介助など、その活動は学校生活全般にわたり、児童生徒の心身に配慮した、安定した学級運営に寄与することができています。

10款 1項 3目 教育指導費

教育指導支援事業

(教育指導課)

決算事項別明細書 309 ページ

予算現額		72,694,000 円	決算額		63,671,598 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		9,022,402 円			県 支 出 金	1,589,000 円
前 年 度 比 較	決 算 額	65,133,181 円			地 方 債	
	増 減 額	△1,461,583 円			そ の 他	1,355,200 円
	増 減 率	△2.24%		一 般 財 源	60,727,398 円	

<目的>

教育内容を充実し、きめ細やかな教育を推進することにより、創造性に富み、心豊かな生きる力を持った児童生徒の育成を図ります。

<内容>

小中学校にわくわく支援員やアシスタントティーチャー、学校図書館司書、スクール・サポート・スタッフなどを配置し、きめ細やかな教育活動を推進します。また、小中学校からの要請に応じて、教育センターに配置した非常勤講師を派遣し、教育活動の支援をします。

<実績・成果等>

- わくわく支援員・アシスタントティーチャー

わくわく支援員（15人）は、小学校での様々なふれあい活動や個別支援をとおして、不登校や学級崩壊の予防、生徒指導の充実等に成果を上げています。

アシスタントティーチャー（8人）は、中学校でのチームティーチングによる授業や教員の指導を補助し、個別支援の充実に寄与しています。
- 派遣非常勤講師

派遣非常勤講師（延べ9人）を、教育センターに配置し、教員が出張等で不在の場合に、校長からの要請に応じて各学校に派遣し、教育活動の支援を行っています。
- 発達障害・情緒障害通級指導教室指導員

発達障害・情緒障害通級指導教室指導員（3人）、発達障害・情緒障害通級指導教室指導員指導者（1人）を、広瀬小学校と狭山台小学校と中央中学校に配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に応じた指導や支援、教員を補佐し、教育内容を充実させ成果を上げています。
- 小中学校代替教諭

小中学校代替教諭（延べ13人）は、病休等による教員の不在時に、欠員補充のため小中学校に派遣し、計画的に学校教育を進めています。
- 学校図書館司書

学校図書館司書（8人）を、全中学校に配置し、拠点校以外の担当小学校も定期的に訪問し、学校図書館担当教諭や図書ボランティアに指導助言をして、学校図書館運営の充実に寄与しています。
- スクール・サポート・スタッフ

スクール・サポート・スタッフ（8人）を、小中学校8校に配置し、教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教師の負担軽減を図るため、学習プリントの印刷等や新型コロナウイルス感染症対策のための消毒作業などを行い、教職員の児童生徒に向き合う時間の確保に寄与しています。
- 狭山市教育委員会の附属機関として設置した「狭山市いじめ問題審議・調査委員会」の会議を開催し、いじめの防止等のための対策を実効的に行っています。

10款 1項 4目 教育センター費

学力向上推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 313 ページ

予 算 現 額		13,933,000 円	決 算 額		11,576,972 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定 財 源	国庫支出金 2,200,000 円	
不 用 額		2,356,028 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	12,136,740 円			地 方 債	
	増 減 額	△559,768 円			そ の 他	5,500,000 円
	増 減 率	△4.61%		一 般 財 源	3,876,972 円	

<目的>

小中学生の学習状況を向上させ、家庭学習の習慣化を図ります。

<内容>

学校の授業以外で学習できる機会を設け、小中学生の学校の学習指導を補完するとともに家庭学習の習慣化を目指して、小学生は「小学生学習支援事業」、中学生は「中学生学習支援事業」を実施します。小学生には、学力に差が出やすい4年生を対象に所属校で平日に外部講師による講義を実施します。中学生には、市内8つの中学校区ごとに指定された会場で長期休業中に外部講師による集中講義を実施します。さらに、長期休業中に使用できる家庭学習ワークを小中学校に配付します。

<実績・成果等>

- 1 中学生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」
 - (1) 市内中学生（8中学校）の登録者数 474人（令和3年度467人）
 - (2) 集中講義開催日数 夏冬季 延べ72日（令和3年度延べ72日）
 - (3) 集中講義参加人数 夏冬季 延べ2,594人（令和3年度延べ2,557人）
 - (4) 事業に対する満足度 84パーセント
- 2 小学4年生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」
 - (1) 市内小学生（15小学校）の登録者数 165人（令和3年度157人）
 - (2) 開催日数 延べ300回（令和3年度延べ300回）
 - (3) 参加人数 延べ2,914人（令和3年度延べ2,751人）
 - (4) 事業に対する満足度 95.9パーセント

10款 1項 4目 教育センター費

国際理解教育推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 313 ページ

予算現額	73,899,000 円	決算額	70,784,353 円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定	
不 用 額	3,114,647 円		国庫支出金	
前年度比較	決算額		65,470,264 円	県支出金
	増減額		5,314,089 円	地方債
	増減率	8.12%	その他	
		一般財源	70,784,353 円	

<目的>

早くから外国語や外国の文化に慣れ親しめる環境を作ることにより、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、様々な連携を図る教育活動を通じて、小学校の外国語科・外国語活動から中学校の外国語教育への円滑な接続を実現し、中一ギャップの解消につなげます。帰国・外国人児童生徒への支援を充実します。

<内容>

各小中学校へ英語活動支援員や語学指導助手を配置するとともに、各中学校区において小中連携教育を推進し、小学校から中学校への円滑な接続を図ります。日本語指導員を学校に派遣し、帰国・外国人児童生徒の学習を支援します。新学習指導要領の小学校における全面実施への対応として、小学校専任語学指導助手を増員し、外国語早期教育を推進します。

<実績・成果等>

1 英語活動支援員

小学校での英語活動の充実を図りました。

- (1) 英語活動支援員 (15 人) を配置し、各担当小学校で担任とのチームティーチングを実施し、外国語早期教育の充実を図っています。

※英語に興味関心の高い児童の割合 88.7 パーセント

- (2) 英語活動支援員が、学級担任や英語専科教諭、語学指導助手と連携することで、より効果的な英語活動の授業の展開を図るとともに国際理解教育の充実を図っています。

2 語学指導助手

小中学校での英語教育及び国際理解教育の充実を図りました。

- (1) 令和4年度 英語検定3級相当以上の英語力を有する生徒の割合 53.8 パーセント

(参考：国 47.0 パーセント 県 46.8 パーセント 令和3年度データ)

- (2) 語学指導助手 (12 人) を配置し、小学校では学級担任や英語専科教諭と、中学校では英語科教諭とのチームティーチングを実施し、外国語教育の充実を図っています。

※英語に興味関心の高い生徒の割合 71.0 パーセント

※小学校での指導 年間1クラス平均 15.2 時間

※中学校での指導 年間1クラス平均 34.3 時間

- (3) 語学指導助手は、幼稚園を訪問して、外国語や外国文化に早期から慣れ親しむ教育活動を充実させています。

※幼稚園への訪問 年間1クラス平均 6.5 時間

10款 1項 4目 教育センター費

教育相談事業

(教育センター)

決算事項別明細書 313 ページ

予算現額		40,062,000 円	決算額		38,220,208 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,841,792 円			県 支 出 金	5,787,000 円
前 年 度 比 較	決算額	35,656,098 円			地 方 債	
	増減額	2,564,110 円			そ の 他	137,500 円
	増減率	7.19%		一 般 財 源	32,295,708 円	

<目的>

教育相談活動を行うことにより、いじめ、不登校、非行、問題行動、発達障害等の未然防止や早期対応を図ります。

<内容>

教育センターに相談員を配置し、学校等と連携を図りながら児童生徒や保護者、教職員からの相談に対応します。また、適応指導教室「けやき」を開設し、不登校児童生徒の社会復帰に向けた指導を行います。学校課題解決支援員を設置し、情報収集や関係機関と連携し、学校課題等に取り組みます。就学支援委員・教育相談員（就学相談等兼務）は、必要に応じて就学相談における各種知能検査を行い、結果報告書の作成、保護者への報告等専門的分野での対応を行います。各小中学校にさやまっ子相談員、スクールカウンセラーを、さらに各中学校にさやまっ子相談支援員を配置して、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応します。

<実績・成果等>

電話相談内容別件数

い じ め	11 件
不 登 校	440
友 人 関 係	1
性 格 ・ 行 動	110
学 業 ・ 進 路	45
非 行	0
虐 待	0
学校との関係	9
家庭生活・子育て	12
そ の 他	10
合 計	638

面接相談内容別件数

い じ め	1 件
不 登 校	1,388
友 人 関 係	1
性 格 ・ 行 動	252
学 業 ・ 進 路	64
非 行	0
虐 待	0
学校との関係	0
家庭生活・子育て	7
そ の 他	1
合 計	1,714

適応指導教室通級児童生徒数 25 人

10款 2項 1目 学校管理費

小学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 317 ページ

予算現額		142,211,000 円	決算額		137,842,923 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金 47,362,236 円	
不 用 額		4,368,077 円		財	県支出金	
前年度 比較	決算額	143,246,288 円		源	地方債	
	増減額	△5,403,365 円			その他	
	増減率	△3.77%		一般財源	90,480,687 円	

<目的>

ICT 活用力の育成のため環境を整備します。

<内容>

児童がコンピュータなどの ICT 機器を活用した学習ができる環境を整備します。

<実績・成果等>

1 GIGA スクール構想に基づき、児童 1 人 1 台の情報端末を配備し、授業等に活用しました。

- ・児童学習用端末等借上料 (4,447 台) 47,362,236 円
- ・小学校インターネット回線使用料 1,029,600 円
- ・校内ネットワーク維持管理業務委託料 3,168,000 円
- ・オンライン学習支援サービスソフト使用料 5,173,080 円

2 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT 環境の整備を図りました。

- ・教育用コンピュータ機器等借上料 51,313,176 円
- ・校務用コンピュータ機器等借上料 27,213,026 円
- ・周辺機器等借上料 710,613 円

10款 2項 2目 教育振興費

小学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 319 ページ

予 算 現 額		68,530,000 円	決 算 額		63,698,175 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	1,989,000 円
不 用 額		4,831,825 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	60,973,672 円		地 方 債	
	増 減 額	2,724,503 円		そ の 他	
	増 減 率	4.47%	一 般 財 源	61,709,175 円	

<目的>

低所得世帯の児童の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

<内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している小学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

<実績・成果等>

準要保護児童延べ 852 人に対して、学用品費等を支給しました。

就学援助費 63,691,085 円
 (うち特別支援教育就学奨励費 113 人 3,977,092 円)

10款 2項 3目 学校施設整備費

小学校校舎空調設備改修事業

(教育施設管理課)

決算事項別明細書 321 ページ

予 算 現 額		161,112,000 円	決 算 額		145,880,000 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	53,708,000 円
不 用 額		15,232,000 円		財	県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	0 円		源	地 方 債	78,700,000 円
	増 減 額	145,880,000 円		所 属 財 源	そ の 他	
	増 減 率	皆増	一 般 財 源		13,472,000 円	

<目的>

年間を通し、児童に快適な学習環境を確保します。

<内容>

防衛省の補助金を活用し、小学校の除湿温度保持設備（冷暖房設備）の機能復旧工事を実施します。

<実績・成果等>

- 1 校舎空調設備改修として設計業務委託を実施しました。
 入間川小学校除湿温度保持工事設計委託 11,880,000 円

- 2 校舎空調設備改修として2カ年に渡る工事に着手しました。
 入間川小学校校舎除湿温度保持工事 134,000,000 円

10款 3項 1目 学校管理費

中学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 323 ページ

予 算 現 額		87,991,000 円	決 算 額		85,493,825 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	23,952,696 円
不 用 額		2,497,175 円		財	県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	87,501,028 円		源	地 方 債	
	増 減 額	△2,007,203 円			そ の 他	
	増 減 率	△2.29%		一 般 財 源	61,541,129 円	

<目的>

ICT 活用力の育成のため環境を整備します。

<内容>

生徒がコンピュータなどの ICT 機器を活用した学習ができる環境を整備します。

<実績・成果等>

- 1 GIGA スクール構想に基づき、生徒 1 人 1 台の情報端末等を配備し、授業等に活用しました。
 - ・生徒学習用端末等借上料 (2,249 台) 23,952,696 円
 - ・中学校インターネット回線使用料 549,120 円
 - ・校内ネットワーク維持管理業務委託料 1,689,600 円
- 2 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT 環境の整備を図りました。
 - ・教育用コンピュータ機器等借上料 39,193,440 円
 - ・校務用コンピュータ機器等借上料 18,042,351 円
 - ・周辺機器等借上料 236,271 円

10款 3項 2目 教育振興費

中学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 325 ページ

予 算 現 額		74,185,000 円	決 算 額		63,365,498 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定 国庫支出金	868,000 円	
不 用 額		10,819,502 円		特定 県支出金	156,000 円	
前 年 度 比 較	決 算 額	65,010,217 円		財 源 所 属	地 方 債	
	増 減 額	△1,644,719 円		そ の 他		
	増 減 率	△2.53%	一 般 財 源	62,341,498 円		

<目的>

低所得世帯の生徒の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

<内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している中学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

<実績・成果等>

準要保護生徒延べ 506 人に対して、学用品費等を支給しました。

就学援助費		63,365,498 円
(うち東日本大震災被災生徒就学援助費	1 人	156,970 円)
(うち特別支援教育就学奨励費	31 人	1,791,886 円)

10款 3項 3目 学校施設整備費

中学校校舎等改修事業

(教育施設管理課)

決算事項別明細書 327 ページ

予算現額	1,134,581,000 円	決算額	321,957,130 円		
翌年度への繰越額	772,582,000 円	財 源 内 訳	特定 国庫支出金	69,085,000 円	
不 用 額	40,041,870 円		特定 県支出金		
前 年 度 比 較	決算額		223,559,160 円	地方債	203,800,000 円
	増減額		98,397,970 円	その他	28,000,000 円
	増減率	44.01%	一般財源	21,072,130 円	

<目的>

経年劣化した建物を更新し、建物寿命を延ばすことにより安全安心な学校にします。

<内容>

老朽化した校舎等の建物維持や改造及び、給排水・電気などの更新を行う改修設計及び工事を計画的に行います。

<実績・成果等>

1 職員トイレの改修として、次の設計業務委託及び工事を実施しました。

(1) 山王中学校職員トイレ改修工事設計委託	825,000 円
(2) 入間野中学校職員トイレ改修工事設計委託	825,000 円
(3) 狭山台中学校職員トイレ改修工事設計委託	825,000 円
(4) 柏原中学校職員トイレ改修工事設計委託	825,000 円
(5) 山王中学校職員トイレ改修工事	14,972,903 円
(6) 入間野中学校職員トイレ改修工事	15,398,097 円
(7) 狭山台中学校職員トイレ改修工事	13,825,823 円
(8) 柏原中学校職員トイレ改修工事	17,313,417 円

2 生徒用トイレ1系統の改修として、次の工事を実施しました。

(1) 山王中学校トイレ改修工事	59,870,445 円
(2) 入間野中学校トイレ改修工事	65,517,455 円
(3) 狭山台中学校トイレ改修工事	55,739,940 円
(4) 柏原中学校トイレ改修工事	56,065,050 円

3 令和5年度の中規模修繕に向けて、次の設計業務委託を実施しました。

(1) 中央中学校校舎外壁等改修工事設計委託	2,854,500 円
(2) 中央中学校内装等改修工事設計委託	6,660,500 円
(3) 入間野中学校校舎外壁等改修工事設計委託	2,765,400 円
(4) 入間野中学校内装等改修工事設計委託	6,452,600 円

10款 4項 1目 幼稚園費

私立幼稚園支援事業

(保育幼稚園課)

決算事項別明細書 331 ページ

予 算 現 額		5,916,000 円	決 算 額		5,867,430 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		48,570 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	5,881,230 円		地 方 債	
	増 減 額	△13,800 円		そ の 他	
	増 減 率	△0.23%	一 般 財 源	5,867,430 円	

<目的>

市内の私立幼稚園等の園児の心身の健全な発達を支援します。

<内容>

市内の私立幼稚園等に対して、教育条件の維持及び向上を図ることを目的とした助成金を交付するとともに、市内の私立幼稚園等で構成される団体に対して、幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金を支給します。また、特別支援の充実と振興を図るため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園等に対して補助金を支給します。

<実績・成果等>

1 私立幼稚園振興助成金

目的：私立幼稚園等の教育条件の維持及び向上を図るための助成金

対象施設 9 園

対象園児数 計 1,141 人

助成対象経費（抜粋） 園医・薬剤師手当、教職員研修費、遊具等の購入・修繕の一部

2 幼稚園児育成事業費補助金

目的：幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金

市内幼稚園等 9 園において、観劇会を実施

3 私立幼稚園特別支援教育費補助金

目的：心身に障害等のある幼児の私立幼稚園等への就園を促進するため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園への補助金

対象施設 7 園

対象園児数 計 28 人

10款 5項 1目 社会教育総務費

社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 333 ページ

予算現額	4,803,000 円	決算額	4,213,491 円
翌年度への繰越額		財源内訳	特定国庫支出金
不 用 額	589,509 円		特定県支出金
前年度比較	決算額		3,834,936 円
	増減額	378,555 円	その他
	増減率	9.87%	一般財源

<目的>

社会の要請や地域住民のニーズに応じて、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

<内容>

社会教育の振興を図るため、学習の機会を提供するとともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

<実績・成果等>

- 1 ジュニアリーダー養成事業の開催
狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、「狭山市ジュニアリーダー初級講習会」を開催し、令和4年5月29日から令和5年3月19日までの間に7講座を実施しました。
- 2 平和推進事業の開催
市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図ることを目的に、中央図書館にて令和4年12月11日に平和祈念講演会を開催し、22人の参加がありました。また、講演にあわせて、講演内容に関連する書籍の展示や貸出を実施しました。
- 3 現代的課題等の講座の開催
地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題である環境問題をテーマに、公民館や関係団体等と連携して「環境にやさしいライフスタイル講座」を実施しました。当講座は6回開催し、延べ108人の参加がありました。
- 4 子ども大学の開催
小学校4年生から6年生を対象として、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しました。「子ども大学さやま・いるま」は、東京家政大学及び入間市教育委員会との共催により、令和4年7月23日から9月3日までの間の3日間(4講座)開催し、狭山市から14人、入間市から15人の合計29人が受講しました。また、「子ども大学さやま」は、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学及び飯能信用金庫との共催により、令和4年10月29日から12月3日までの間の3日間(3講座)開催し、30人が受講しました。
- 5 社会教育関係団体の支援
社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市PTA連合会	289,000 円
狭山市地域文庫連絡会	61,000 円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	160,000 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

二十歳の集い開催事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 333 ページ

予算現額	1,427,000 円	決算額	633,479 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	特定 国庫支出金	
不 用 額	793,521 円		特定 県支出金	
前 年 度 比 較	決算額		943,032 円	地方債
	増減額		△309,553 円	その他
	増減率	△32.83%	一般財源	633,479 円

<目的>

20 歳という人生の大きな節目を迎える青年を祝福するとともに、大人としての自覚や意識の高揚を図ります。

<内容>

式典を挙げて、青年の新しい門出を祝福し、大人としての自覚や意識の高揚を図ります。

<実績・成果等>

式典の名称を「成人式」から「二十歳の集い」に変更し、令和 4 年度狭山市二十歳の集いを狭山市市民会館で開催しました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検温や手指消毒など基本的な感染症対策を施すとともに、2 部制で式典を開催し、その様子を動画配信しました。

令和 4 年度狭山市二十歳の集い (令和 5 年 1 月 8 日開催)

該当者数	出席者数	出席率
1,388 人	942 人	67.87%

10款 5項 1目 社会教育総務費

生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 333 ページ

予算現額		5,479,000 円	決算額		4,658,223 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		820,777 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	4,468,805 円			地 方 債	
	増 減 額	189,418 円			そ の 他	57,200 円
	増 減 率	4.24%		一 般 財 源	4,601,023 円	

<目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会の中で活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

<内容>

生涯学習に取り組む個人や団体の活動を促進するための機会や、成果を発表する場の充実を図ります。また、生涯学習の充実に向けて、ICT 等各種の情報媒体を活用しながら、情報提供の充実を図ります。

<実績・成果等>

1 生涯学習ボランティア制度の充実

さまざまな経験や知識・技能を持ち、社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録件数（指導分野）は145件、登録者は107人となりました。

2 生涯学習まちづくり出前講座の推進

職員が地域に出向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を開催しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、226件、20,570人が受講しました。

3 生涯学習の場としての学校施設の開放

市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放し、延べ441団体、11,685人の利用がありました。

4 生涯学習情報コーナーの運営

生涯学習に関する情報提供や市民からの問合せ及び相談に総合的に応じる窓口として、生涯学習情報コーナーを、さやま生涯学習をすすめる市民の会に委託して運営を行いました。本年度は、242日間開所し、11,544人の利用がありました。

5 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供

地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークル情報などを提供し、月平均12,630件のアクセスがありました。

6 市民文化祭の開催

各公民館、入曽地域交流センター、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場において、416団体が活動成果を発表し、11,528人が来場しました。

市民文化祭補助金（14会場）620,654 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

家庭教育支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 335 ページ

予算現額	690,000 円	決算額	379,892 円	
翌年度への繰越額		財源内訳	国庫支出金	
不 用 額	310,108 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		203,217 円	地 方 債
	増 減 額		176,675 円	そ の 他
	増 減 率	86.94%	一 般 財 源	379,892 円

<目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、学習機会の提供などを通して、家庭教育を支援します。

<内容>

PTA と連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図り、家庭の教育力の向上に向けた支援を行います。

<実績・成果等>

1 家庭教育合同研修会の実施

家庭教育合同研修会を狭山市 PTA 連合会との共催により、4 会場で実施しました。そのうち、講師から承諾の得られた 2 講演については、市内小中学校の保護者を対象に講演映像の動画配信によるリモート研修（期間：令和 4 年 11 月 21 日から 11 月 28 日まで）も実施しました。

期 日	会 場	内 容
10 月 29 日	広瀬小学校体育館	講演会 子どもといま大切にしたいこと ～失敗したって大丈夫～
10 月 15 日	入間川東小学校体育館	講演会、リモート研修 子どもの立ち直り力と援助を求める力 ～自己肯定感を土台にして～
11 月 19 日	狭山元気プラザ体育館	講演会 子育て支援の大切さ ～児童虐待が起こらないために～
10 月 29 日	山王小学校体育館	講演会、リモート研修 みんな違って、みんないい！

2 家庭教育学級の実施

家庭教育学級の開設と運営を幼稚園保護者会と小中学校 PTA に委託し、実施しました。

幼稚園幼児期家庭教育学級	3 学級	45,000 円
小学校 PTA 家庭教育学級	14 学級	177,331 円
中学校 PTA 家庭教育学級	7 学級	77,921 円

3 すこやか子育て講座の実施

令和 5 年 4 月に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断や入学説明会の機会を捉え、市立小学校 3 校において家庭教育や子育てに関する講座を実施しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 335 ページ

予算現額	1,024,000 円	決算額	800,189 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	223,811 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		581,711 円	地 方 債
	増 減 額		218,478 円	そ の 他
	増 減 率		37.56%	一 般 財 源
			800,189 円	

<目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

<内容>

同和問題、女性、性的少数者、子ども、高齢者、障がい者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

<実績・成果等>

1 人権教育研修会等の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をとりながら、学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会等を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数 (視聴回数)
第1回人権教育研修会 (市民会館)	10月 4日	講演会「豊かな人権感覚と身近な人権課題」	108人
第2回人権教育研修会 (市民会館)	11月 29日	講演会「インターネットと人権 ～中傷投稿の被害者を救え～」	97人
第3回人権教育研修会 (市民会館)	12月 15日	講演会「住み慣れた地域で、生きがいを持ち、安心して暮らしていきたいね」	86人
企業人権教育研修会	2月 6日～ 2月 20日	講演会 (動画配信形式) 「LGBTQ からダイバーシティ&インクルージョン ～誰もが働きやすい職場づくりを目指して～」	51回
人権教育実践研究会 (市民会館)	2月 14日	実践発表 ・「小学校における人権教育」 ・「中学校における人権教育」 ・「公民館における人権教育」 ・「幼稚園における人権教育」	106人

2 小中学校 PTA 人権教育学級の開催

市内 20 校の小中学校 PTA に委託し、人権教育学級を開催しました。

小学校 PTA 人権教育学級 13 学級 130,000 円
中学校 PTA 人権教育学級 7 学級 70,000 円

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 337 ページ

予算現額	16,563,000円	決算額	15,125,073円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定	
不 用 額	1,437,927円		国庫支出金	
前年度 比較	決算額		19,615,769円	県支出金
	増減額		△4,490,696円	地方債
	増減率	△22.89%	その他	2,000,000円
		一般財源	13,125,073円	

<目的>

地域の文化財等の価値を知り地域への愛着と誇りを深め、地域が一体となって文化財の適切な保存と活用が行われる環境作りを進めます。

<内容>

郷土の歴史や伝統文化に対する理解を深め、文化財の愛護意識を高めるために、指定文化財の保護・継承と文化財関係資料の収集・保存・調査研究に取り組むとともに、これらの公開や歴史文化講座や文化財講習会等での活用を進めます。貴重な文化財を後世に残すために、文化財の保護や民俗芸能の継承に取り組む団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 指定文化財等の管理業務を次のとおり実施しました。

事業名	実施内容
県指定史跡七曲井除草管理業務ほか5事業	除草、樹木剪定等 49回

2 指定文化財等の管理事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
清水八幡宮樹木伐採事業	236,500円	イチョウの剪定及び剪定枝の処分
廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業	72,000	土壌改良及び施肥
堀兼神社二神像修理工事	858,000	解体精査及び塗料除去

3 民俗芸能等の団体の後継者育成事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
狭山市民俗芸能祭囃子後継者育成事業	66,305円	囃子練習・上演
柏原祇園囃子後継者育成事業	30,000	子供会員を対象に練習
梅宮神社甘酒祭り後継者育成事業	60,000	夜間に謡を練習・上演

4 普及啓発事業を次のとおり実施しました。

事業名	開催回数	参加人数
出前講座	4回	75人
文化財展(市民提案型協働事業関連展示等)	4	-

5 今宿遺跡復元住居等の再整備に係る基本計画の策定及び実施設計を行いました。

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 339 ページ

予算現額		7,053,000 円	決算額		3,457,332 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	1,000,000 円
不 用 額		3,595,668 円		県支出金	500,000 円
前 年 度 比 較	決算額	21,330,672 円		地 方 債	
	増減額	△17,873,340 円		そ の 他	915,086 円
	増減率	△83.79%	一 般 財 源	1,042,246 円	

<目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

<内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

<実績・成果等>

1 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財の調査

埋蔵文化財包蔵地内における確認調査（工事立会いを含む）を 33 件（対象総面積 18,941.96 平方メートル）実施しました。また、埋蔵文化財発掘調査を 2 件実施しました。

埋蔵文化財発掘調査名	調 査 結 果
分譲住宅に係る開発行為予定地内埋蔵文化財（霞ヶ丘遺跡）発掘調査	奈良・平安時代の竪穴建物跡 1 軒
宅地造成に係る開発行為予定地内埋蔵文化財（上広瀬古墳群）発掘調査	縄文時代の土壇 2 基、古墳時代の古墳石室 1 基

2 出土品の整理

文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。

3 埋蔵文化財の公開・活用

埋蔵文化財の発掘調査成果などを使用した展示等を行いました。

事業名	場所	期間	内容
出前講座	笹井小学校	5 月 11 日	笹井地域の遺跡、遺物についての講座と火起こし体験
出前講座	入曽地域交流センター	8 月 3 日	ドッキー（縄文土器の模様が付いたクッキー）の製作体験
文化財展	市役所 1 階 エントランスホール	1 月 10 日～ 1 月 20 日	今宿遺跡復元住居再整備計画に関するパネル展

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 339 ページ

予 算 現 額	11,436,000 円	決 算 額	10,900,952 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	535,048 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		8,299,793 円	地 方 債
	増 減 額		2,601,159 円	そ の 他
	増 減 率		31.34%	一 般 財 源
			1,408,490 円	
			9,492,462 円	

<目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

<内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営の充実を図ります。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

<実績・成果等>

利用状況 開所日数 332 日

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	54 件	550 人
官 公 署	91	1,426
公 共 団 体	191	1,823
社会教育関係団体 (免除団体)	28	243
社会教育関係団体 (有料団体)	1,948	17,176
合 計	2,312	21,218

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 341 ページ

予算現額	829,000 円	決算額	520,371 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	308,629 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		365,712 円	地 方 債
	増 減 額		154,659 円	そ の 他
	増 減 率		42.29%	一 般 財 源
			520,371 円	

<目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

<内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育の充実を図ります。

<実績・成果等>

1 主催事業の実施

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	小・中学生人権学習	2 講座	4 回	584 人
	教職員人権教育研修会	1	2	52
	人権セミナー・研修会	2	6	148
青 少 年	小・中学生ふれあい教室	2	2	128
成人一般	地域ふれあい講座	3	4	81
高 齢 者	ふじみ寿大学	1	1	102
そ の 他	ふれあいコンサート	1	1	29
合 計		12	20	1,124

2 市民文化祭

市民文化祭の富士見集会所会場として、令和4年10月29日と10月31日から11月2日までの計4日間で発表と作品展示を行い、11団体が参加し、来場者は延べ264人でした。

10款 5項 4目 公民館費

公民館管理事業

(中央公民館)

決算事項別明細書 341 ページ

予算現額		134,496,000円		決算額		131,979,547円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		2,516,453円			財	県支出金	
前年度 比較	決算額	119,772,678円			源	地方債	
	増減額	12,206,869円			そ の 他		14,516,355円
	増減率	10.19%			一 般 財 源		117,463,192円

<目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

<内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場の提供と成果を発表する場としての利用に供します。

<実績・成果等>

利用状況

区 分	官 公 署		公共的団体 (内免除登録団体)		有料団体		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	654 ^件	12,356 ^人	923(224) ^件	8,190(2,091) ^人	7,751 ^件	71,321 ^人	9,328 ^件	91,867 ^人
富士見公民館	27	260	286(97)	1,066(806)	4,782	42,186	5,095	43,512
水野公民館	57	898	106(0)	2,012(0)	2,959	25,650	3,122	28,560
堀兼公民館	61	914	148(0)	1,895(0)	1,227	9,465	1,436	12,274
狭山台公民館	41	898	807(310)	9,404(3,268)	3,082	24,590	3,930	34,892
新狭山公民館	205	2,323	371(14)	4,051(128)	3,366	31,377	3,942	37,751
奥富公民館	43	298	676(68)	6,612(1,051)	1,294	13,696	2,013	20,606
柏原公民館	46	721	263(53)	2,698(359)	1,721	14,336	2,030	17,755
広瀬公民館	14	932	215(21)	2,457(257)	3,681	28,837	3,910	32,226
水富公民館	8	421	267(0)	876(0)	1,179	12,439	1,454	13,736
合 計	1,156	20,021	4,062(787)	39,261(7,960)	31,042	273,897	36,260	333,179

10款 5項 4目 公民館費

公民館講座等運営事業

(中央公民館)

決算事項別明細書 343 ページ

予算現額		5,023,000 円	決算額		3,328,003 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		1,694,997 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決算額	2,059,616 円		地方債	
	増減額	1,268,387 円		その他	
	増減率	61.58%	一般財源	3,328,003 円	

<目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

<内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、市民のニーズや社会的な要請を踏まえた講座等を開催します。

<実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中央公民館	28 ^件	283 ^回	5,210 ^人
富士見公民館	31	242	4,099
入曽公民館	16	42	3,728
水野公民館	34	212	4,465
堀兼公民館	23	53	1,084
狭山台公民館	25	73	3,544
新狭山公民館	28	271	5,391
奥富公民館	28	109	9,308
柏原公民館	22	80	2,020
広瀬公民館	32	144	5,278
水富公民館	12	100	4,380
合 計	279	1,609	48,507

※新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で、対面型の講座を実施しました。

また、動画配信サービスを利用した講座や、資料を事前に配付し、在宅で学習していただく講座なども継続して実施しました。

市民文化祭は、各公民館の利用登録団体の発表を再開し、引き続き作品展示や、写真や動画での活動紹介を館内や公式ホームページを利用して実施しました。

10款 5項 5目 図書館費

図書館利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 347 ページ

予算現額	159,329,000 円	決算額	155,755,451 円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定	
不 用 額	3,573,549 円		国庫支出金	
前年度 比較	決算額		156,114,819 円	県支出金
	増減額		△359,368 円	地方債
	増減率	△0.23%	その他	31,695,356 円
		一般財源	124,060,095 円	

<目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、読書活動の推進や、市民の学習や調査活動を支援します。

<内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスの提供に必要な会計年度任用職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

<実績・成果等>

1 図書館利用の推進

- (1) 図書購入費 28,200,372 円 図書購入冊数 13,283 冊
 うち 中央図書館 21,711,245 円 うち 中央図書館 9,361 冊
 うち 狭山台図書館 6,489,127 円 うち 狭山台図書館 3,922 冊
 視聴覚資料購入費 474,092 円 (DVD 31 点、CD 11 点)

- (2) 登録者数 155,872 人

- (3) 利用実績

区分	中央図書館	狭山台図書館	移動図書館	合計	(内団体)
利用者数	202,369 人	47,288 人	5,938 人	255,595 人	(1,163) 団体
貸出数	600,860 点	164,553 点	17,771 点	783,184 点	(18,125) 点

- (4) 資料区分ごとの貸出数

区分	一般書	児童書	雑誌	ビデオ
貸出数	441,745 冊	293,079 冊	31,530 冊	78 点

区分	D V D	C D	カセット	DAISY※
貸出数	7,469 点	8,748 点	531 点	4 点

※DAISY は、印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書

- (5) 一般奉仕

講座 3 回 41 人

(介護保険課と共催で、認知症に関する講座を実施。関連図書を展示)

講演会 1 回 37 人

(狭山市及び入間市出身の文学賞受賞作家 2 人による対談を実施)

- (6) 児童奉仕
 おはなし会、工作、体験学習等 73回 (ボランティアグループとの連携実施を含む)
 読み聞かせ講座 1回
 子ども映画会 11回
 保健センター事業での講座 6回
 (読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション、図書館案内、絵本紹介等)
 ブックトーク 1回
 (入曽地域交流センターと共催で、親子にブックトークを実施。関連図書を貸出)
 家庭教育学級 1回 (小学校 PTA 家庭教育学級)
 講演会 1回
 (幼年童話作家による講演会をボランティアグループと共催で実施)
- (7) 学校連携
 小学生向けの広報紙の発行 2回
 中学生向けの広報紙の発行 2回
 出前事業 (ブックトーク) の実施 小学校 24学級、対象792人、貸出1,590冊
 図書の団体貸出 87回、2,307冊
 図書館訪問等の受入 小学校 12校 15回 811人
 中学校 1校 1回 13人
 館内案内 DVD の貸出 小学校 13校 13回

2 その他

- (1) 市民文芸さやま第27号 300部刊行 (応募者数 87人、応募作品数 353点)
 (2) 視聴覚教材・教具貸出 46点 (うち16ミリフィルム29点)、視聴者 309人
 (3) その他の奉仕活動
 レファレンス 9,502件 資料コピー 7,880枚
 リクエスト 79,538件
 (4) インターネット上に無料で公開されている電子書籍のリンク集を図書館HPで情報提供

10款 5項 6目 博物館費

博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 349 ページ

予算現額		79,198,000円	決算額		79,175,200円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		22,800円		県支出金	
前年度 比 較	決算額	76,647,200円		地方債	
	増減額	2,528,000円		その他	
	増減率	3.30%	一般財源	79,175,200円	

<目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、本市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図ります。

<内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、本市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

<実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日から指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と事業の実施状況は次のとおりです。

1 入館の状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開館日数	26 ^日	25	24	28	26	27	27	27	22	24	24	27	307
入館者数	2,927 ^人	2,076	983	5,151	5,985	2,616	4,664	5,406	505	1,475	2,008	4,265	38,061

2 企画展

事 業 名	開 催 期 間	日 数	観 覧 者 数
童絵作家・池原昭治展～残しておきたい狭山の風景～	4月1日～5月15日	(本年度分) 39 ^日	4,517 ^人
狭山 de 妖怪展	7月2日～9月4日	57	11,945
富田伊織作品展 新世界『透明標本』	9月23日～11月27日	59	11,215
拓くひとびと～狭山の奈良・平安～	1月7日～2月26日	45	3,401
服部正志作 わくわくトリック 3Dアート展～魔法の絵画の世界～	3月18日～3月31日	(本年度分) 12	3,756

3 各種講座等

事 業 名	参加者数
企画展関連事業 春のまいまい体験講座ほか25事業	7,664 ^人
古文書読解講座中級編ほか121事業	4,954
文化財・企画展紹介動画 童絵作家・池原昭治展ほか4本	(再生回数) 2,333回

10款 6項 2目 学校保健費

公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 351 ページ

予算現額	61,024,000 円		決算額	60,159,963 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	864,037 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	59,716,946 円		地方債	
	増減額	443,017 円		その他	3,897,935 円
	増減率	0.74%		一般財源	56,262,028 円

<目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

<内容>

学校保健安全法に基づき、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員を対象に健（検）診や学校環境衛生検査等を実施します。また、園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金)を行うため、災害共済給付制度に加入します。

<実績・成果等>

1 健康診断 学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施。

区分	校(園)数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	10	8	8	10	8

- (1) 令和4年10月に、小学校に入学する就学児童1,000人を対象に健康診断を実施しました。
受診児数983人(受診率98.3パーセント) 未受診児17人(主な理由は転居や転居予定に伴う他市受診、特別支援学校への進級、海外滞在中、私立小学校入学。居所不明児はなし)
- (2) 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。
尿検査1次検査9,504人 2次検査275人 要精密検査(蛋白28人・糖3人・潜血17人)
- (3) 児童・生徒の結核健康診断を実施しました。
受診者数9,559人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者5人 要精密検査者数0人
- (4) 小学校1年生、中学校1年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。
受診者数2,003人 要精密検査者数56人
- (5) 教職員健康診断を実施しました。
集団健診受診者数212人(要精密検査者数72人) 個別健診受診者数82人(要精密検査者数23人)
結核健康診断受診者数294人(胃検診受診者数16人)

2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備え、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ加入しました。※保護者負担金の調定額及び収入済額3,897,935円

区 分	加入者数(人)	単価(円)	共済掛金(円)
一般児童生徒	8,351	935	7,808,185
要保護児童生徒	6	55	330
準要保護児童生徒	1,226	935	1,146,310
イレギュラー案件(※)	4	935	3,740
園児	65	285	18,525
前年度途中加入者(未加入者のみ)	4	935	3,740
合計	9,656		8,980,830

※長欠の児童生徒(本年度は8人)は学校に来ないため学校管理下での災害はないと見なし、保護者から負担金は徴収していない。

(※) 区域外(川越市在住) 準要保護2人・掛金を支払わずに国外転出外国人2人

10款 6項 3目 スポーツ振興費

市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 351 ページ

予 算 現 額		6,985,000 円	決 算 額		5,633,749 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		1,351,251 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	4,819,596 円		地 方 債	
	増 減 額	814,153 円		そ の 他	133,471 円
	増 減 率	16.89%	一 般 財 源	5,500,278 円	

<目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

<内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウォーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

<実績・成果等>

1 スポーツ教室等の開催

スポーツ教室は、15 種目 16 教室を実施し、延べ 665 人の参加があり、スポーツ関連行事は、5 事業を実施し、延べ 317 人の参加がありました。

(1) スポーツ教室

教 室 名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
体 力 テ ス ト 向 上	4月 (1日間)	元 気 プ ラ ザ	14 ^人	14 ^人
硬式テニス (初心者)	6月～7月(4日間)	智 光 山 公 園	14	47
ラ ク ロ ス	7月 (1日間)	堀 兼 ・ 上 赤 坂 公 園	17	17
	10月～12月(4日間)		26	92
ゴ ル フ (初 心 者)	7月～8月 (8日間)	堀 兼 ゴ ル フ セ ン タ ー	6	47
剣 道 (初 心 者)	7月 (5日間)	武 道 館	27	81
子どもスポーツ体験	8月 (1日間)	東 京 家 政 大 学	14	14
か け っ こ (親 子)	9月 (1日間)	元 気 プ ラ ザ	68	68
柔 道	9月 (5日間)	武 道 館	18	78
体幹を鍛えて健康増進	10月～11月 (2日間)	東 京 家 政 大 学	24	40
バドミントン (初心者)	11月～12月 (4日間)	市 民 総 合 体 育 館	16	53
ヨ ガ	11月 (4日間)	武 道 館	17	59
ランニングクリニック	1月 (1日間)	狭 山 稻 荷 山 公 園	20	20
アクティブチャイルドプログラム	1月 (1日間)	武 道 館	12	12

キッズダンス	3月 (1日間)	武道館	12人	12人
withコロナで楽しめる軽スポーツ ボウリング	3月 (1日間)	新狭山グランドボウル	11	11

(2) スポーツ関連行事

事業	期 日	会 場 等	参加者数
壮年ソフトボール大会	5月 8日	上奥富コンビネーショングラウンド	113人 (9チーム)
さやま CITY ゴルフ大会	6月20日	東京ゴルフ倶楽部	110 (28組)
体力テスト会	10月 8日	市民総合体育館	38
健康ウォーキング	3月 8日	市民交流センター 入間川地区周辺	26
スポーツ障害予防講習会	3月11日	市民総合体育館	30

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会では、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組むために、講習会を開催するなどスポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 7回 延べ106人
 会議等 7回 延べ117人
 各地区、他団体等からの要請事業 6回 38人
 埼玉県・入間地区による会議・実技研修等 11回 27人
 トスベースボール大会 10月15日開催 183人 (12チーム)
 ラケットテニス親睦大会 2月18日開催 40人 (9チーム)

3 社会体育関係団体の支援

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会 90,000円
 狭山市レクリエーション協会 800,000円

4 市民体育祭の支援

地区体育祭に補助金を交付し、開催を支援しました。
 市民体育祭 (4地区) 1,595,000円

10款 6項 3目 スポーツ振興費

競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 353 ページ

予算現額	5,343,000 円	決算額	5,127,953 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	特定 国庫支出金	
不 用 額	215,047 円		特定 県支出金	
前年度 比較	決算額		4,412,650 円	地方債
	増減額		715,303 円	その他
	増減率	16.21%	一般財源	
			5,127,953 円	

<目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

<内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

<実績・成果等>

- 1 関係団体の支援

狭山市スポーツ協会	3,700,000 円
狭山市スポーツ少年団	684,000 円

- 2 スポーツ協会との共催事業

市民ゴルフ大会	10月24日開催	196人 (50組)
クロスカントリー in Sayama	12月11日開催	388人

- 3 市内企業スポーツチームの支援

Honda 陸上競技部 ニューイヤー駅伝 (全日本実業団対抗駅伝)
優勝による狭山市駅東西自由通路・市庁舎 横断幕設置

- 4 スポーツ団体との連携協定事業
 - (1) 埼玉西武ライオンズ
 - ・「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」市内保育所(園)6園実施
 - ・「ライオンズサプライズゲスト」市内小学校1校
 - ・「ベースボールチャレンジ」市内小学校1校
 - ・「ティーチングセミナー」市内小学校1校

 - (2) ちふれASエルフェン埼玉
 - ・ちふれASエルフェン埼玉夏休みサッカー教室開催
日時：令和4年8月23・24日(火・水)
場所：堀兼・上赤坂公園
 - ・ちふれASエルフェン埼玉春休みサッカー教室開催
日時：令和5年3月28・29日(火・水)
場所：堀兼・上赤坂公園

10款 6項 4目 スポーツ施設費

市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 353 ページ

予 算 現 額	63,852,000 円	決 算 額	63,840,650 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	11,350 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額		62,640,550 円	地 方 債
	増 減 額		1,200,100 円	そ の 他
	増 減 率		1.92%	一 般 財 源
			63,840,650 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

キッズ体操やヨガ等の教室を 22 教室開催し、延べ 8,005 人の参加がありました。

利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
334 日	40,062 件	205,966 人	119.95 件	616.66 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 353 ページ

予 算 現 額		49,464,000 円	決 算 額		49,454,490 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		9,510 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	47,502,172 円		地 方 債	
	増 減 額	1,952,318 円		そ の 他	
	増 減 率	4.11%	一 般 財 源	49,454,490 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供するとともに、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

親子体操やヨガ等の教室を 6 教室及びラウンドフィットネス（通年）を開催し、教室では延べ 4,788 人の参加がありました。

利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	333 日	5,128 件	42,266 人	15.40 件	126.92 人

狭山台プール	開館日数	利 用 者 数			
		小学生以下	中・高校生	一 般	合 計
			39 日	1,691 人	212 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

武道館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 355 ページ

予 算 現 額	9,810,000 円	決 算 額	7,978,006 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	1,831,994 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		44,326 円	地 方 債
	増 減 額		7,933,680 円	そ の 他
	増 減 率	17,898.48%	一 般 財 源	
			1,237,165 円	
			6,740,841 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、武道の振興及び武道教育の拠点となる武道館を市民の利用に供するとともに、各種スポーツ教室等を実施します。また、災害時には避難所として活用できる施設として、維持管理を行います。

<実績・成果等>

剣道や柔道等の教室を5教室開催し、延べ242人の参加がありました。

利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
267 日	1,100 件	16,172 人	4.12 件	60.57 人

令和4年5月17日供用開始

10款 6項 4目 スポーツ施設費

学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 355 ページ

予算現額	2,590,000円		決算額	2,502,330円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	87,670円			県支出金	
前 年 度 比 較	決算額	1,273,569円		地方債	
	増減額	1,228,761円		その他	
	増減率	96.48%	一般財源	2,502,330円	

<目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理は委託により実施します。

<実績・成果等>

利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	135 日	8 団体	2,897 人
富士見	247	16	8,101
南	241	17	10,023
山王	40	3	974
入間野	253	13	6,781
御狩場	190	10	5,165
堀兼	119	8	1,997
狭山台	248	14	6,084
新狭山	198	11	7,141
奥富	146	11	5,558
柏原	172	8	3,201
広瀬	206	11	4,201
笹井	104	8	2,905
水富	103	3	1,639
中央中学校	175	8	2,097
入間川	164	6	1,834
山王	195	5	2,860
入間野	259	8	6,409
堀兼	183	6	1,996
西	269	17	6,332
柏原	142	6	1,314
狭山台	158	6	2,199
合 計	3,947	203	91,708

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
	利用件数			利用人数	
359 日	1,082 件	41,821 人	3.01 件	116.49 人	

10款 6項 5目 学校給食センター費

給食センター管理事業

(学校給食センター)

決算事項別明細書 357 ページ

予算現額	232,874,000 円	決算額	231,510,036 円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定財源	
不 用 額	1,363,964 円		国庫支出金	
前年度 比較	決算額		231,259,544 円	県支出金
	増減額		250,492 円	地方債
	増減率	0.11 %	その他	
		一般財源	231,510,036 円	

<目的>

児童生徒に安全でおいしい給食を提供します。

<内容>

PFI 方式で更新した入間川学校給食センター、柏原学校給食センター及び堀兼学校給食センターの施設を割賦により取得します。

<実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(142,675,215 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,878,400 円)

10款 6項 5目 学校給食センター費

学校給食事業

(学校給食センター)

決算事項別明細書 359 ページ

予 算 現 額		584,728,000 円	決 算 額		558,622,723 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		26,105,277 円			県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	527,025,075 円			地 方 債	
	増 減 額	31,597,648 円			そ の 他	
	増 減 率	6.00%		一 般 財 源	558,622,723 円	

<目的>

児童生徒に安全かつ安心な給食を提供します。

<内容>

学校給食衛生管理基準に基づき、給食を調理し、安全でおいしい給食を児童生徒に提供します。アレルギーについては、適切に対応した給食を調理し提供します。また、栄養士等による食育の充実に取り組みます。

<実績・成果等>

安全安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

1 給食実施状況

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| (1) 給食の実施回数 | 小学校 186 回・中学校 185 回 |
| (2) 給食の提供人員 | 小学校 15 校 6,806 人、中学校 8 校 3,501 人 |
| (3) アレルギー対応食提供人員 | 小学校 60 人、中学校 11 人 |

2 栄養指導の実施状況

- | | |
|----------|-------|
| 小学校 11 校 | 81 時間 |
| 中学校 3 校 | 50 時間 |